

「友好の翼」に乗り友好都市へ

1979年9月、武漢市と大分市は新日鉄の武漢鉄鋼への技術指導をきっかけに、友好都市関係を結びました。これまで様々な分野において、市民、行政レベルでの交流を行い成果をあげてきました。

2006年、当武漢事務所を立ち上げてからは、両市間の交流が一層盛んになりました。

今年は両市の友好都市締結30周年であり、行政から民間まで様々な記念事業を行います。

その一環として、7月18日～23日の日程でチャーター機を飛ばし、両市間の相互訪問を行います。

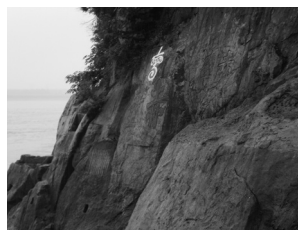
武漢側からは、両市の次世代を担う子供たちの国際的な視野の育成などを目的に開催される「大分市友好カップジュニアサッカー大会」に参加する4チームの関係者約80名と、武漢市民により構成される武漢市民友好訪問団70名余りが大分を訪れます。

大分側からの友好の翼訪問団160名の皆様には、7月22日に見る事ができる300年に一度の皆既日食が大きな目玉です。中国では6都市でこの皆既日食を見ることができます。中でも、武漢は最も長く5分20秒も観測ができます。当日は長江沿いの公園の中で、皆既日食を観測するコースが組まれています。

皆既日食観測のほか、訪問団は武漢市及び周辺地の観光をします。

◎赤壁コース

ジョン・ウー監督の「レッドクリフ」は三国志最大の逆転劇「赤壁の戦い」を映画化したものですが、この映画が世界中で三国志ブームを呼び、赤壁古戦場を訪れる旅客が急激に増えました。赤壁古戦場は武漢から車で2時間の場所にあります。淵の岩に赤く「赤壁」の二文字が彫刻されており、長江の水面を眺めながら曹操と孫権の戦いを思い浮かべることができます。岩の真上にある赤壁公園には、呉の功臣周瑜の石像があります。そのほか城壁



赤壁



過去の記念式典の様子

や周瑜の兜を形取ったユニークな形の「赤壁大戦陳列館」、諸葛孔明を記念する「武侯宮」、孔明が神風を呼んだとされる「拜風台」、周瑜とともに活躍した龐統を記念する「鳳雛庵」など、赤壁の戦いに関係のある観光ポイント満載のコースです。



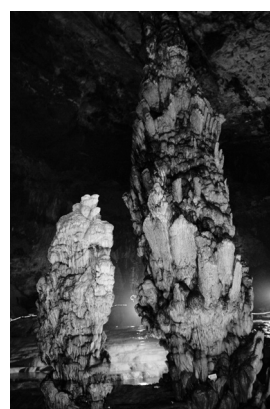
赤壁古戦場の城壁

◎世界文化遺産、鍾乳洞コース

武漢から高速で約4時間の鐘祥市はここ数年人気の高い観光地です。ここには、世界文化遺産の「明の顕陵」、アジア最大の鍾乳石洞「黄仙洞」、楊貴妃の子孫が隠棲した原始生態文化村「娘娘寨」などがあり、中国全土のなかでも有数の観光地です。

「明の顕陵」は嘉靖皇帝が両親のために作った王陵ですが、中南地域における唯一の帝王陵墓であり、国内最大の独立帝王御陵でもあります。「大地博物館」の美称を持ち、2000年に北京の「十三陵」と一緒に世界文化遺産の認定を受けました。現在中国全土で21ヶ所、湖北省に僅か2ヶ所しかない世界遺産が「武当山」とこの「明の顕陵」です。

「黄仙洞」は国家級の名勝地で、平均海拔700mの理想的な避暑地です。区内に鍾乳洞が4ヶ所あり、2万平米以上のカルスト地形は世界的にも珍しいものです。また、鍾乳洞から傾斜70度のはしごのような階段を登って地上に出ると、原始生態文化村「娘娘寨」の観光ができます。住民の総人口は常に87名に維持されていたという不思議な村は楊貴妃の子孫のものとしてされています。



黄仙洞の奇石

おかげさまで募集から10日で今回のチャーター機は満員となりましたが、10月にもチャーター機を飛ばす計画をしています。友好都市武漢に興味のある方は、ぜひ友好の翼をご利用ください。お待ちしております！